

森・人・街をつくる

都市の木質化プロジェクト

社会と木材との関わりと その価値観を変えるために

都市の木質化プロジェクトは、名古屋大学の多分野の研究者が実務者や地域のコミュニティと協働し、森林と都市とのつながりの希薄さが抱える問題の本質的解決をめざし、木材の使い方の普及と人づくり、そして都市への実装を進める取り組みです。

都市の木質化を支える取り組みの3つの柱

木を創る

森づくり

地域の資源である木材の活用を進め、森づくりに貢献するために、ユーザーと一体となった木材の利用や共同施工により、木材の新たな使い方に挑戦しています。

木を担う

人づくり

森と街の交流を促すツアーや木を科学する勉強会など、多世代のユーザーが森と街の相互のニーズを共有するため、多様な交流や研修などに取り組んでいます。

木を使う

街づくり

名古屋市の都心である錦二丁目地区において、まちづくりと一体となって、都市における多様な木材利用を展開する都市の木質化を進めています。

